

YRS
ユアーズ



横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより

横浜ウェーブ

第192号

全国聴覚障害者情報提供施設協議会総会・大会 (オンライン) が開催されました

6月24日(木)、オンラインによる特定非営利活動法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会(以下:全聴情協)の2021(令和3)年度総会及び第17回(通算29回)施設大会(※主管は高知県聴覚障害者情報センター)がオンラインにて開催され施設長が出席しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、昨年度の施設大会は中止、総会は書面決議、今年度も対面での開催は見送りとなりました。

施設大会では、今井貴士氏(厚生労働省社会援護局障害保健福祉部企画課自立支援振興室室長補佐 テーマ「聴覚障害者情報提供施設が今後担うべき役割・期待」と、中西久美子氏(一般財団法人全日本ろうあ連盟 情報・コミュニケーション委員会委員長 テーマ「運動の方向性と聴覚障害者情報提供施設に対する期待」)の2つの講演がありました。

午後の施設大会の議案決議については、Zoomの投票機能を用いて行われました。総会の中で、「身体障害者社会参加支援施設の設備及び運営に関する基準」(平成15年厚生労働省令第21号)の、聴覚障害者情報提供施設の配置基準に職名と員数が明記されていないため、各施設の職員配置数が異なっていることが課題として提起されました。どのような職種の職員を何人配置すれば効果的な事業実施が可能となるのか、全聴情協として整理し検討すること、併せて聴覚障害者に対する情報提供のあり方やICTの活用について組織的に検討することが求められています。

また、全聴情協理事会での審議だけでは多くの課題に対処することに限界があることから、①新たな専門部会の設置(ICT専門部会、相談専門部会) ②専門委員会(情報メディア専門委員会、意思疎通支援専門委員会)の役割見直し ③専門委員、専門部会員を各ブロックから選出する 以上3つの方針が示され、今後各ブロックで協議していくことになっています。

その他、今回は理事の改選があり、新理事長には滋賀県立聴覚障害者センターの中西久美子氏、副理事長には香川県聴覚障害者福祉センターの太田所長、事務局長には大阪ろうあ会館の井澤昭夫氏がそれぞれ就任することとなりました。横浜が所属する第三ブロックから選出され、2年間理事長を担った埼玉聴覚障害者情報センターの川津所長は退任、今後は理事として引き続き全聴情協の運営に関わります。

オンラインでの開催は安全で経済的ではありますが、協議がしにくく、特に聴覚障害の参加者にとっては画面を注視し続ける必要があり、対面より疲労度が高いと思われます。来年度の施設大会は近畿・東海ブロックで開催予定となっていますが、来年こそ参集しての開催が可能な状況となるよう、祈るばかりです。



大学で講演を行いました

7月20日(火)、『赤毛のアン』翻訳家である村岡花子さんご出身の大学、東洋英和女学院大学の授業「手話」に当施設職員を講師として派遣しました。同大学では、2019年から手話の授業が行われており、今年度は10人の学生が受講しています。今回、授業の担当講師からの依頼を受け、「聴覚障害理解について～聞こえないってどんなこと?～」のテーマで講義を行いました。

手話による講演を始める前に、身体を動かすウォーミングアップから始め、それぞれの自己紹介や質問をしました。その後、聴覚障害理解のための啓発DVD「聞こえないってどんなこと?(23分)」を視聴しました。

学生から次のような感想をいただきました。

啓発DVDは、街中でのシチュエーションを見て、自分ならどうするか、考えられて良かった。また、(インタビューを聞いて)補聴器を付けているのに耳が聞こえないというのを分かってくれない事、人工内耳を入れる手術をしても人によって声の聞こえやすさが違うという事を学んだ。

私にできることはその講演で学んだことを私の周りに伝えることだと思った。ろう者の悩みなどは、直接聞く機会がないのでとても貴重な時間だった。

このように普及・啓発事業では、当事者団体の他、地域包括ケアプラザ等の支援者のみなさまに対してお話をさせていただく「支援者向け出前講座」も行っています。ご利用希望がありましたら、普及・啓発事業担当までお問い合わせください。

戸塚区基幹相談支援センター見学対応しました

7月27日(火)、戸塚区基幹相談支援センター職員3人が当施設の見学に来られました。当施設の事業について説明しました。また基幹相談支援センターの取り組みについて説明していただきました。今後も事例検討や情報交換など様々な場面で連携していきたいと思っております。

日曜教室にて講演しました

8月1日(日)、ウィリング横浜にて(一社)横浜市聴覚障害者協会主催の日曜教室がおこなわれました。「電話リレーサービスとJ-TALK」というテーマで、当施設職員2人が講演をおこないました。電話リレーサービスについては、7月1日から施行されたサービスで、登録方法や使われる主な場面などを説明しました。参加者の中にはすでに登録をしている方もいて、終了後、不明点について個別相談の対応をしました。

J-TALK(㈱アシテムの遠隔手話通訳アプリ)については、J-TALKアプリの登録方法や遠隔手話通訳の使い方説明しました。

参加者にとって、どちらも興味深い内容だったようで、質問も多く、予定していた時間を過ぎてしまうほどでした。

新しいサービスは、聴覚障害者に情報が広くいきわたるまで、時間がかかってしまう現状があります。手話で説明できる場の必要性について改めて感じることができました。



意思疎通支援担当者研修会に参加しました

7月15日(木)、意思疎通支援担当者研修会(主催:全国聴覚障害者情報提供施設協議会)に派遣担当職員が参加しました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、オンラインでの研修会となり、2年ぶりの開催でした。

午前は東京手話通訳等派遣センター落合氏による「コロナ禍での意思疎通支援」をテーマにした講義を聞き、依頼者・通訳者・情提職員がコロナに感染しない・させないことの大切さを再確認することができました。

午後は「手話」「要約筆記」に分かれて分散会を行いました。世の中が大きく変わったこの2年間で対応に苦慮したことや今後の課題について意見を交わし、他県の取り組みについて知ることができました。

今回の研修会は良い刺激になり、大変勉強になりました。今回得た学びを活かし、派遣事業のさらなる向上に努めてまいりたいと思います。

要約筆記者研修を開催しました

7月31日(土)、パソコン要約筆記者、手書き要約筆記者の現任研修を実施しました。

午前のパソコン要約筆記者現任研修では、5分間のペア入力を繰り返し行い、その都度検証をしました。短時間の入力と検証を繰り返すことで、気づいたことをすぐに確認し、指摘しあい、次の入力に活かすことができました。

午後の手書き要約筆記者現任研修では、全国要約筆記者問題研究会の小森講師をお招きし、「自己検証をしてみる」というテーマで講義と実技指導をしていただきました。自分が書いたものと、落としてはいけない項目を簡潔にまとめた要素表を見比べ、要点が短くまとめられているか、自己検証を行いました。パソコン・手書きとも、自分の要約筆記を見直す貴重な機会となりました。



手話通訳者全体研修を開催しました

「ろう看護師の軌跡と米国ギャローデット大学での研究～ろうの意味を再構築しよう～」

8月7日(土)、ろう看護師、皆川愛さんに講師をお願いし、標記テーマで研修を行い102人(オンライン87人、会場15人)が出席しました。講師は、米国ギャローデット大学大学院を修了され、現在米国にてDeafHealthEquity(ろう健康公平センター)でお仕事をされています。帰国のご予定に合わせて研修をお願いしましたが、コロナ感染拡大のため帰国が難しくなり、オンラインでの実施となりました。



内容は、ご自身の生き立ち、ご経験の中で、聞こえないことを感じ向き合あわれてきた軌跡を、実際の事例を示してお話いただきました。そして、看護についてもイラストなどでわかりやすく説明していただき、ろう看護師としての視点は手話通訳者が現場で大事にするべき視点として置き換えられることのできる内容で、勉強になりました。緊張や我慢を強いられること多い今、時間差も距離もある米国とオンラインで研修ができたことは、コロナ禍という状況をプラスに感じられる良い時間ともなったようです。



らぽらいん@横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設
公式アカウント始めました。登録をお願いします。



横浜ラポール
聴覚障害者情報提供施設
LINE公式アカウント
らぽらいん



横浜ラポール聴覚障害者情報提供のお知らせ、手話動画などを不定期にお知らせします。



(7月末までの累計)

■通訳者の派遣・紹介人数

■聴覚障害者の相談

内容	手話通訳	要約筆記	合計	昨年同月	相談事業	実件数	対応数
医療・保健	2,199	27	2,226	1,665	医療	129	229
司法	7	16	23	6	職業	11	27
教育・保育	209	3	212	107	教育	0	0
労働・雇用	214	17	231	50	住宅	9	17
社会生活	660	6	666	408	生活	68	108
自己啓発	35	0	35	12	福祉	63	133
福祉推進	277	310	587	205	法律	10	26
相談員	0	0	0	0	聞こえ	2	3
他都市	15	0	15	13	合計	292	543
合計	3,616	379	3,995	2,466	昨年同月	254	355
昨年同月	2,357	109	2,466				

■通訳者の現任研修

■映像・字幕制作

手話	回数	14	参加人数	240	自主制作作品数	27
要約筆記	回数	16	参加人数	242		



- 7月
- | | | |
|------------------------------|----------------------------|------------------------|
| 1 ラポール運営委員会 | 24 専門研修(オンライン) | 17 手話登録試験委員会(横聴協) |
| 3 手話課題別研修 | 27 戸塚区基幹相談支援センター | 17 主管課打合せ(聞こえの相談事業) |
| 5 手話1年次研修 | | 見学対応 18 令和4年度予算要求ヒアリング |
| 5 横浜地裁にて現場調整 | 31 要約筆記者現任研修 | 18 国リハ学院通訳学科学生見学対応 |
| 6 裁判員裁判通訳打合せ(オンライン) | 8月 | 20 手話養成運営委員会(横聴協) |
| 10 手話課題別研修 | 1 横聴協日曜教室 講師対応 | 21 要約筆記者現任研修 |
| 13 ラポール職員研修(救急法) | 2 区役所配置手話通訳 | 22 主管課定例会 |
| 13 浜難聴コミ教室見学 | (後期 10/1~)募集開始 | 23 衛生委員会 |
| 14 派遣事業運営委員会 | 7 手話全体研修 | 28 手話全体研修 |
| 15 全聴情協意思疎通支援者研修会
(オンライン) | 17 関東ろうあ者相談員連絡会
(オンライン) | |

横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより <<横浜ウェーブ>>

発行日: 令和3年8月31日

発行者: (社福)横浜市リハビリテーション事業団 横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町 1752 TEL.045-475-2057 FAX.045-475-2059

ホームページ <http://www.yokohama-rf.jp/rapport/jyoutei/>